

平成22年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	2. 総務費	事業名	5. ミレニアムセンター佐倉管理運営費						
項	1. 総務管理費	細事業名							
目	12. 防災対策費	担当課・係	ミレニアムセンター佐倉		(執行課: ミレニアムセンター佐倉)				

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業							(単位: 千円)	
	(歳入)	(歳出)	財源内訳								一般財源
要求額	0	3,308	要 求								3,308
決定額			決 定								

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策	まちづくりの推進に向けて / 成果と効率性を重視した行財政運営の推進 / ミレニアムセンターの維持管理を適正に行い								
	[ミレニアムセンター佐倉の施設整備・改修に関する業務]	施策体系コード	06-01-04-70-50			事業番号	128-1				
	施設・設備の状況を定期的に点検、把握し、必要に応じて、設備・備品等の改修・整備を行います。	総事業費	7,261千円			事業期間	平成18年度～平成22年度				
		年度別事業費	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度				
			1,277	1,339	182	0	4,463				

(事業実施に関する根拠法令)
 佐倉市民防災啓発センターの設置及び管理に関する条例
 佐倉市コミュニティセンター設置及び管理に関する規則

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) 市民の防災意識の啓発や、非常時における生命保持・救護の確保と、駅前という利便性を活かし、市民生活に密着した行政サービスの提供等ができる施設づくりを基本として、防災訓練施設と小ホールや会議室、風呂施設等のコミュニティ施設、消費生活センター、市民サービスセンター等の行政サービスの施設の管理・運営を行う。	(事業の目的) 都市化や高齢化、高度情報化、国際化等が進展していく中で、潤いのあるまちづくりが求められている現在、駅前の利便性を考慮した施設整備、また、阪神淡路大震災の発生により、市民が安心して生活できることも緊急課題となっている。以上の状況から、市民の安全の確保と駅前の利便性を活かした行政サービスの提供、子供から高齢者まで幅広く利用できる施設を維持管理し、防災都市づくりの一環とする。	(事業の効果) 当施設は、本市の中心的な防災啓発施設として、訓練や体験を通し防災意識の啓発を図る施設とし、また、佐倉地域の自主防災組織の活動拠点機能も有するものとする。また、コミュニティ施設や市民サービスセンターは、駅前という交通の利便性を活かし、市民が気軽に利用でき、くつろぎやゆとりを感じる空間とする。
(事業実施上の問題点)	(前年度からの見直し点)	(見積についての特記事項)